

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	55%	自校A B層の割合	60%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	51%	自校A B層の割合	47%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川区算数科授業スタンダードを基に、問題解決的な授業展開を実施する。振り返り活動を大切にし、学びの価値付けと次時の意欲を高める。 個別最適な学びを実現するため、一人1台端末やデジタル教材を積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリル診断テストを年間6回実施。 第1回 B問題（前学年）×2 第2回 C問題（前学年）×2 第3回 現行学年のA問題×2に組み込む。 毎週金曜日に中学習の時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間3回実施の家庭学習週間での学年×10分の徹底 児童の学習状況や興味関心に適した個別最適な家庭学習の実施。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川区算数科授業スタンダードを基に、各教員が授業の流れを統一することで、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習タイムで児童の実態に合ったプリント（東京ベーシックドリル等）を使い個別指導を行う。 第2学年における九九検定の実施。 第1学年におけるたし算検定 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後補習教室への参加（C層D層） 毎週金曜日の学習タイムで、学級担任、少人数担当と連携し、個別指導を行う。 補充問題としてミライシードに取り組む。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」肯定的な回答80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリル診断テスト平均正答率 低学年 90%以上 高学年 80%以上を目指す。 算数科ワークテスト平均正答率80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答割合80%以上